

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス もみじのてKIDS鶴見		
○保護者評価実施期間	2026年 1月10日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	71	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2026年 1月10日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	BBQや保護者参観等の利用者様同士で交流を深めるイベントを開催している。	保護者様同士関わりを持てるように配慮している。 親子共に楽しく参加出来るゲーム等を多数用意している。 スタッフが保護者様同士のパイプになり会話をしやすくしている。 兄弟をお誘いしての夏祭りを開催している。	年1回開催を年に複数回にし、楽しい時間や思い出作り、情報交換の場を増やしていきたい。
2	祝日や学校の長期休暇は、外出レクを多くし、公共の場でのルールやマナーを学んでいる。 キャンプで宿泊練習をしている	楽しく参加出来るように、しおりを作成し見通しを立てている。 平日の活動の中で、事前に公共の場のルールを学び、休日の外出に行っている。 活動や遊びの中で順番を待つ事や他者とのコミュニケーションの方法を学んでいる。	交通機関を積極的に利用し、公共の場でのルール、理解を深めていく。 地域の活動に積極的に参加し、特性を理解してもらう。
3	プログラミングやタイピングや昼食作り等、将来の自立へ向けての活動を多く取り入れている。 就労前の作業練習に取り組んでいる。	それぞれのレベルやクラスに合わせた練習方法を活動プログラムに取り入れている。 本人の将来の希望に寄り添えるよう毎日コツコツ練習している。	作業所の見学をし、具体的に必要なスキルを体験していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	休日のみの活動に偏ってしまっていた。 地域の他の子どもと活動出来るイベントの情報収集が足りていなかった。	休日のみならず、近隣の学校のイベントに積極的に参加したい。 地域の掲示板だけでなく、インターネット等でも情報収集を行う。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者様に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていない。	契約時のみ周知している為、常に最新の情報を提示出来ていない。	常に活動の内容やお知らせ等を確認出来るシステム(HUG)やホームページにBCP(事業継続計画)を公開し周知していく。
3	勉強会や家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の回数が少ない。	開催するクラスに偏りがあったため。	均等に勉強会などが開催出来るように取り組む。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスもみじにてKIDS発見

公表日 年月日 2026年3月31日

利用児童数

71

回収数

39

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	5			作業を行う机が、もう少し広く使えるとなお良いと思います。 広すぎず生徒が安心出来る空間だと感じました。	児童の成長に合わせ機を配置していき ます。
	2 職員の数配置は適切であると思いますか。	33	4		2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	4		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	38	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	35	4			いつも細かい配慮や対応に感謝してっばいです。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると 思いますか。	35	2		2		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思 いますか。	39					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	36			3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	38	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	38	1			色々なプログラムをありがとうございます！ 毎日楽しい活動を取り入れて下さり、本当にありがとうございます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	5	12	4	18	地域の子どもと接する機会が増えると思います。	休日のみならず、近隣の小学校や地域の イベントに平日も積極的に参加してい く。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	37	2				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	37	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	27	4	1	7		面談での情報提供や、クラスによって勉 強会を開催しております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思 いますか。	36	2		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	35	3		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	4	1	11	楽しい交流の場を設けて下さり、貴重な時間を過ごさせて頂いております。 バーベキュー楽しませて頂きました。参加者が少な目でも残念な気持ちも ありました。企画ありがとうございます。	保護者参観や、夏祭りや兄弟をお誘いし たり、BBQで保護者様同士での交流の場 を今後も設けていきます。
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されて いると ともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていま すか。	35	2		2		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていま すか。	36	2		1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信さ れていますか。	36	2		1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思 いますか。	39					
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	7		1	私の認識不足のかもしれないですが、マニュアルがあること自体知りませんでした。	常に活動の内容やお知らせ等を確認出来 るシステム（HUG）やホームページに BCP（事業継続計画）を公開し周知して いく。
非 常 時 の 対 応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	35	1		3		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思 いますか。	36	1		2		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状態等について説明がされていると思 いますか。	30	3		6		
	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	38		1		スケジュールや手順などをイラストや写真で示す等、視覚的な娘にとって安心できる工夫がされています。	
満 足 度	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	36	2		1	行き渋りなく、もみじにてに行けることを毎回楽しみにしています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	39				土曜日や長期休みに外出出来、色々経験出来て満足しています。 誠実でフレンドリーなスタッフさんが多く、それに引っぱられるように明るく元気に通っています。少しずつ目 を見て挨拶出来るようになりました。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスもみじのKIDS鶴見		2026年3月31日			
	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		あるスペースにて使用の仕方を工夫してる。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		人員基準の最低人数の配置をしている。	あと数名補充していきたい。 言語聴覚士など専門職の補充
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	ベビゲートを部屋の出入り口に設置することで、飛び出しを防止している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		子供達を送迎している間、残ったスタッフが部屋の隅々まで清掃を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		部屋数が多く、クールダウン等その時のニーズに合わせて利用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		相談会や各フロアで支援計画に沿って話し合いをしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		イベントを開催する事にアンケートを配布し、次回開催へ改善に繋げている。	開催日を毎年変えたり、場所など変更して参加されやすいように改善していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日30分程全スタッフとミーティングを行い、情報共有をしている。月に1度以上会議にて改善していくように話し合いをしたり来てない職員へ周知している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	毎年アンケートでいただく貴重なご意見を参考に改善ポイントを支援内容のプログラムに反映し毎年ミーティングで話し合いをしています。	スタッフにも周知していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎月2回、BCPや虐待防止対策、感染症対策等の研修を行っている。外部研修には、虐待研修、障害特性の学び研修、強度行動障害研修、児童発達管理責任者研修、横浜市の研修	沢山のスタッフに学びに時間の提供をしていく
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		毎月の支援を支援プログラムに沿って、児童の療育に必要な内容を適切に思量して、話し合いをして決めている。	児童の発達過程に沿った希望等も取り入れていきたい。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		必要に合わせて成長に合わせて児童・保護者からアセスメントをとり計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎月更新のある児童。保護者のモニタリングをして、児童に関わる職員で考察して検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		スタッフが支援に入る前に児童の支援内容を提出出来るよう、クラス毎の個別支援計画ファイルを設置している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	フォーマルなアセスメントや日々のインフォーマルなアセスメントを理解してミーティングでの共有している。	共有しているが、今後も仕方を工夫していく
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等デイサービスでの支援計画では、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援・地域連携・8領域に沿った支援計画の作成をしています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各フロアの児童発達管理責任者・リーダー・指導員がチームになり立案しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		発達段階に合わせて立案しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別な活動は勉強面で生活自立など個々に合わせての内容になっていて支援に活かされている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日全体ミーティング後、各クラスの担当に分かれ、打合せをしている。	
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	管理者やリーダーに直接報告することになっています。職員間も夕方のメンバーのみになります。	欠員メンバーにも周知していきます	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日の業務報告に残しスタッフと共有している。		
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	定期的な見直しをしてモニタリングして支援計画に有効にさせている。	欠員メンバーにも周知していきます	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		自立支援や日常の充実支援に盛り込み、創作、地域活動、余暇の提供も取り入れています。特に「あいさつ」「時間管理」には力を入れている。		
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自発的に行える支援をするように、ミーティングでも共有されています。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者や児童発達管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		学校の先生や通院先の主治医などと共有している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校や保護者との情報共有はされている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		情報共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		情報提供をしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	地域の子供とは公園等でも交流ありますが、児童クラブの交流は無いです。	今度も交流をお願いしていくように努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		帰りに保護者の方にその日の活動及び様子伝えてあります。またアプリで、その日の活動や写真を見れるように記載している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		課題がある場合も共有して話すことがあります。就労移行についての家族参加研究の機会があり、好評だった。毎年やってほしい。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		運営規定などは契約時に説明し、支援プログラムや負担がかかる事は説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		もみじのてに来ていただき密にお子さんの意向、家族の意向を話し合っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		変更な部分など説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じてご家族からの面談の申し込みに対応して悩みの解決をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	支援見学会を年1回開催して、ゆっくりと支援を見学して頂いています。兄弟にも夏祭りやBBQに参加して頂いています。	欠席メンバーにも周知していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		バーベキュー等で行っている。BBQの1回のみで、保護者会などの開催数と参加のしやすさを高めたい。	BBQ以外にもイベントの開催を検討したい
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		HPや内部SNSにて毎月発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の保護の研修や理解を学びを行い気を付けていくようにしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		配慮しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	地域住民を招待することのハードルの高さを感じた。	イベント事があれば地域に情報を伝えることを検討したい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		年間でマニュアルに沿って勉強会を改正している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		児童とはBCPに沿って避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		確認してスタッフにも共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーのある方への対応は保護者経由でしっかりと聞いて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全が一番なので常に安全管理を研修したりしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		安全計画のフローを契約で説明します。	毎年更新を発信していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		スタッフ掲示板にて共有して印をもらっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待委員会からの取り組み内容を学びの機会としています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		今のところ身体拘束の児童がないため、今後は十分理解して対応や計画に記載していくにする。		